

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院に外来維持透析のため通院されており、リハビリテーション介入をさせていただいている患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

外来透析患者に対する運動療法の効果の検証

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 本郷 裕士

3. 研究の目的

近年、外来維持透析患者に対する運動療法の効果が注目されており、当院でも透析患者さんへの運動療法を実施させて頂いております。過去の報告によると、透析患者さんへの運動療法は運動耐容能の改善や死亡率の低下をもたらすと報告されていますが、その効果にはまだまだ研究の余地があります。特に体組成評価を用いた運動療法の効果はまだ十分に研究が進んでいません。今回、透析リハビリテーションを行う前と後の体組成評価と他の身体機能検査の関連性を明らかにしたいと考えております。これにより、透析患者さんに対する運動療法の効果の解明の一助にしたいと思っております。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

外来維持透析を受けておられる方で2017年5月以降に3か月以上継続して透析リハビリテーションを受けた方。

(2) 利用させて頂く情報

年齢、性別、身長、体重、既往歴、透析歴、透析リハビリテーション導入前後の握力・大腿四頭筋筋力・歩行速度・大腿四頭筋厚・体組成評価、血液生化学検査です。

(3) 方法

電子カルテから上記の調査項目を抽出します。透析リハビリテーションを受ける前後の各調査項目の比較検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 本郷 裕士

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834 E-mail : yhongo.0814@gmail.com